

2025 年 10 月 30 日

報道機関 各位

千葉工業大学 デザイン科学科 西田研究室

トノックス×nicomobi×千葉工業大学で造り上げるみらいのカタチ
JAPAN MOBILITY SHOW 2025 に「学生のアイデアで創る未来ブース」を出展

千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 西田研究室は、株式会社トノックス(本社:神奈川県平塚市、代表取締役社長:殿内崇生)および nicomobi 株式会社との産学連携プロジェクトの一環として、2025 年 10 月 30 日(木)~11 月 9 日(日)(一般公開:10 月 31 日(金)~)に東京ビッグサイトで開催される JAPAN MOBILITY SHOW 2025 に出展します。

本出展では、学生の自由な発想を活かした「学生のアイデアで創る未来ブース」をテーマに、超小型電気自動車「クロスケ」「そらまる」が活躍する近未来の世界観を表現します。

【学生が創り出す「みらいのカタチ」】

本プロジェクトは、2023 年より西田研究室と nicomobi 株式会社が共同で進める、超小型 EV「クロスケ」のサービスデザイン開発からスタートしました。

今回の JAPAN MOBILITY SHOW では、「クロスケ」の製造・組立を担うトノックスが出展するブースにおいて、ブースデザイン・フライヤー・ノベルティなどの制作を千葉工業大学の学生たちが担当。

学生ならではの斬新なアイデアとデザイン力を活かし、トノックスと nicomobi が描く未来のモビリティ社会を体感できる空間を創出しました。

【産学連携で次世代の創造力を社会へ】

本取り組みは、学生が企業とともに課題解決に取り組み、実社会の中でデザインを通じて「未来を創造する力」を育む実践的な教育活動の一環です。

産学連携による共同制作を通じて、次世代モビリティ産業を担う若い人材の創造性と可能性を発信します。

【出展概要】

- ・ 展示会名: JAPAN MOBILITY SHOW 2025
- ・ 会期: 2025 年 10 月 30 日(木)~11 月 9 日(日)
(一般公開:10 月 31 日(金)~)
- ・ 会場: 東京ビッグサイト 東ホール
- ・ ブース番号: E7314(株式会社トノックスブース内)

本学学生のアイディアとデザインが生み出す未来のモビリティの世界を、ぜひ会場でご体感ください。

■ トノックスブースデザイン



クロスケとその未来世界観を表現したブースでは、プラモデルのランナーをモチーフにした大胆な装飾でモビリティの固定概念を払拭。



思わず写真を撮りたくなるようなワクワク感のあるデザインに仕上がっています(デザイン制作:千葉工業大学 西田研究室の学生)

■ 学生とデザインのアイデア出し



トノックス社員と学生たちが何度も意見交換を重ね、ブースのコンセプト設計から空間デザイン、展示構成に至るまで協働でプランを練り上げました。



学生ならではの視点と自由な発想を尊重しつつ、企業側の技術や想いをどう表現するか試行錯誤を重ねたことで、新たなモビリティ展示の形が創出されています。今回実現できなかったものも含め様々なアイデア出しをしました。

■ アクリルキーホルダー /



■ブースデザイン(壁面)



トノックスは
実績と技術力で
他社と共創し
社会に貢献しています

超小型 EV

「クロススケプロトタイプ」
(ホンダモバイルパワーバックe:搭載予定)



バイクより大きくて、軽より小さいこの「クロススケ」は、小さなモーター・小さな電池・少ない電力で手軽に動きます。現在量産に向けて開発中です!



配達車として実証運用

クノメテを詳しく知りたい方はこちら!



Instagram Web

軽トラリユースEV

「そらまるプロトタイプ」
(ホンダモバイルパワーバックe:搭載予定)



軽トラリユースEV「そらまる」は、古くなった軽トラトラックを再利用し、最新の電動モビリティとして生まれ変わらせる新しい取り組みです。

エンジンや燃料タンクを取り外し、クロススケと共通の電動システムを搭載します。古くなった車を廃棄しないため、新車をつくる時よりもずっと地球に優しい形でクルマや社会を支えることができます。近所にガソリンスタンドがない地域のちょっとした移動にピッタリな乗り物になると考えています。



トノックスを詳しく知りたい方はこちら!

Instagram Web Facebook

Q トノックスが目指しているのは何?

- A. いろんな仲間と社会を良くしていくこと
B. 人によるこぼれるクルマを作ること
C. 社会のやくにたつクルマを作ること

■集合写真

トノックス・nicomobi・千葉



工大の学生メンバー一同が笑顔で記念撮影。

【本学学生による成果物】

ジャパンモビリティショー特設サイト↓

<https://nicomobi.co.jp/jms2025/>

クロスケ診断↓

<https://nicomobi.co.jp/personalize-kurosuke-q1/>

【千葉工業大学 創造工学部デザイン科学科 西田絢子准教授のコメント】

2023年より千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科 西田研究室と nicomobi 株式会社は、超小型 EV(クロスケ)のサービスデザインを行う産学連携プロジェクトとしてスタートしました。今回、クロスケの製造・組み立てを行っている株式会社トノックスの JAPAN MOBILITY SHOW 2025 におけるブースデザインやフライヤー、ノベルティグッズなどクロスケの未来の世界観を若い学生のアイデアで実現することができました。是非、会場にお越しの際は、トノックスブースにお立ち寄りいただき、展示をご覧ください。最後に、この場をお借りして、貴重な機会と学びの場をくださった株式会社トノックスおよび nicomobi 株式会社の皆さま、関係各位の皆さまに心より感謝申し上げます。

【プロジェクトリーダー 大学院 1 年 久道慈恩さん(長尾徹研究室)のコメント】

6 月のキックオフ以降、トノックスの社員の皆様と意見交換を重ね、ブースの企画からデザイン、展示構成に至るまで協働してまいりました。

本ブースの企画・デザイン・展示構成には、千葉工業大学デザイン科学科の学生が関わっており、学生ならではの視点から、トノックスのものづくりの魅力や「クロスケプロジェクト」の世界観をどのように伝えるかを考えました。その中で、学生らしく自由な発想を生かした提案ができたのではないかと感じています。

初めて産学連携プロジェクトのリーダーを務める中で、難しさを感じる場面も多くありましたが、チームのメンバーと力を合わせ、一步一步課題を乗り越えながら進めてきました。こうした経験を通じて、社会と関わるデザインの現場に携わることができたことを、心からうれしく思っています。

【ブースデザイン 学部 4 年 山口凜さんのコメント】

トノックスの展示ブースは、プラモデルのランナーをモチーフにモビリティの固定概念を払拭し、発信力のある 20 代女性に刺さるデザインを目指して制作しました。学生ならではの自由な発想で、思わず写真撮りたいと思ってもらえるようなワクワク感のブースあるに仕上がっています。

また、配布ノベルティも女性目線で「かわいい!」「欲しい!」と思ってもらえるデザインにこだわりました。

トノックスの“モノづくりへの想い”と、nicomobi の“クロスケをみんなで育てていく”という両社の想いを込めています。

ぜひブースにお立ち寄りの際は、展示やノベルティと一緒に写真を撮って、SNS にシェアして楽しんでいただけると幸いです。

【株式会社トノックス 技術部 次長 加藤俊彦】

今回の JAPAN MOBILITY SHOW 2025 出展にあたり、千葉工業大学 西田研究室の学生の皆さんと一緒にブースづくりを進める中で、私自身多くの刺激と学びを得ることができました。学生の皆さんは、限られた期間の中でも常に前向きに取り組み、柔軟な発想力と行動力でプロジェクトに新しい風を吹き込んでくれました。企業として実現したいメッセージと、学生ならではの視点や感性がうまく融合した展示になったことを誇りに思います。ぜひ多くの皆様にブースへお越しいただき、学生たちが心を込めてデザインしたノベルティを手に取り、その想いに触れていただければ幸いです。

〈研究についてのお問い合わせ〉

創造工学部 デザイン科学科

西田 絢子 准教授

HP: <https://nishidalab.jp/>

E-Mail: ayako.nishida@p.chibakoudai.jp

〈広報関連についてのお問い合わせ〉

大橋 慶子

千葉工業大学 入試広報部

TEL: 047-478-0222

E-Mail: ohhashi.keiko@it-chiba.ac.jp